

学校だより 浅海



2021
6

松山市立浅海小学校
2021.6.4



それって当たり前？

校長 秋山 徹也

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのまん延防止等重点措置は解除され、感染対策期から感染警戒期に移行されたものの、引き続き緊張感をもって生活されていることと拝察いたします。学校としましては、これからも高い意識を保ち感染症対策に取り組んでまいりますので、引き続いてのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、標題についてですが、最近よく考えることの一つとなっていることで、自戒の念も込めつつ、述べさせていただきます。

例えば、仕事を終え帰宅すると妻が夕食を作ってくれるのは当たり前？洗濯物を洗濯機に放り込んでおくと翌日きちんとたたまれているのは当たり前？食べた食器は誰かが片付けてくれるのが当たり前？また、学校で子どもが先生の指示どおりにするのは当たり前？家庭で子どもがお家の人の言うことを聞くのは当たり前？大人が子どもの要望を叶えるのは当たり前？世の中からいじめがなくなるのは当たり前？……、などなど、あげていくときりがありませんが、日常の出来事に対して、「それって当たり前？」と問い直してみることはとても重要なことだと思います。それは決して、単に物事を「批判する」という視点ではなく、「見直してみる」という視点で、です。

そうすることにより、自分自身のことや、周りの出来事や行動に対して、改めて意味や意義を見だし、毎日の生活を送る上でのほりや活力につながると思うのです。ただし、それが自分や周りの人にとって有益かどうかは人によっても違うでしょうから、見直す内容やタイミングなどについては、バランスを考慮する必要があるとは思いますが。

多様な価値観に囲まれている現代において、少し立ち止まって考える場や時間は、大切であると考えます。ご飯のときや入浴のとき、お稽古事の送り迎えのときなど、ちょっとした時間を見付けてお子様とも対話してみられてはいかがでしょうか。ご自身を振り返るだけでなく、お子様の成長が感じられる場になるかもしれません。

1年生を迎える会を行いました



5月11日（火）に「1年生を迎える会」を行いました。令和3年度になって初めての児童集会です。マスクの着用や換気など、感染症対策にも気を付けながら行いました。

天井につるされた大きなこいのぼりが見守る中、1年生6名が元気いっぱいの自己紹介をしました。各学年からの歓迎の出し物では、2年生は「浅海小クイズ」、3・4年生は「浅海小クイズパート2」、5・6年生は「魔法のじゅうたん」を行いました。どの学年も工夫をこらした出し物になっており、1年生にも喜んでもらいました。

最後に、各学年からのマント、王冠、ステッキのプレゼントで大変身した1年生がみんなの前を歩きました。また、児童の感想にも、「楽しかった。」「これからも1年生ともなかよくしていきたい。」「と、浅海っ子たちの仲の良さがますます深まったことを感じる集会になりました。

